

令和 6 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	1	学 校 名	下田高等学校（定時制）	記 載 者	吉野 友三
------	---	-------	-------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	すべてに優先 する安心安全 な学校づくり	教員による登下校指導の実施、賀茂地区学校安全ネットワークの活用により、交通事故等を 0 にする。グッドマナー講習会を通して、生徒の交通安全意識の向上を図り、講習会満足度 5 段階評価平均 4 以上にする。	A	A	グッドマナー講座は高い評価で実施されていることがよい。
		主権者・人権講座の生徒満足度を 5 段階評価平均 4 以上にする。	A	A	グループワークの実施などを評価する。
		いじめアンケートを各学期で実施し、いじめの認知をためらわないとともに、重大事態の発生件数を 0 にする。	A	A	いじめの起こらない環境づくりの継続を望む。
		保健関係講座の生徒満足度を 5 段階評価平均 4 以上にする。	A	A	講座の満足度が高いことを評価する。
		日々の健康観察や夏季休業明け個別健康相談を通して生徒の心身の健康状態について把握するとともに、年間 3 回のケース会議等により教職員間で情報共有を行うことで重大事故を 0 にする。	A	A	さまざまな取り組みが計画的に実施できたことを評価する。
		地震災害を想定した防災訓練を計画的に実施する。地域の組織による防災意識を高める講座を行う。	A	A	登下校中の被災時の対応についても教育してほしい。
イ	自立心を持った生徒を育てる生徒指導の充実	生徒会を中心に挨拶運動を年間 5 回実施し、自ら挨拶のできる生徒の割合を 90%以上にする。	B	B	挨拶の意味を様々な角度から教育してほしい。
		個別指導の徹底と日々の呼びかけにより、年間出席率 85%以上の生徒が、全校生徒の 80%以上になるようにする。	B	A	個別指導が徹底できている。
		1 か月に 1 度生活習慣チェックの実施と保健だよりの発行を行い、生徒の自己管理に対する意識向上を図る。	B	B	生徒の生活習慣の把握を進めてほしい。
		生徒個々の状況を理解し、部活動加入率 35%以上を達成する。	A	A	今後も継続してほしい。
		生徒会活動を通して主体的に活動できる生徒 80%以上を達成する。	A	A	今後も継続してほしい。

様式第 5 号

ウ	多様な生徒に対応した授業の展開	基礎力の向上と定着を図り、基礎力定着テストで全体平均 70 点以上を達成する。	C	C	来年度から始める始業前の取り組みを進めてほしい。
		教員の授業力向上を図り、生徒アンケートで授業満足度(4段階評価)に「満足している」「どちらかと言えば満足している」と答える生徒の割合が80%以上にする。	B	B	11科目中10科目で目標を達成していることを評価する。
		スクーリングは年間計画通り100%実施し、テストは1月上旬までに最終回のテストを受験する。	B	B	計画通りの実施を望む。
		授業アンケートの「質問しやすい雰囲気」で授業に取り組むことができる」、「授業中での発言のしやすさが確保されている」という項目で、「満足している」「どちらかと言えば満足している」と答える生徒の割合が70%以上にする。	A	A	目標の達成が来年度以降も続くことを期待する。
エ	積極的な地域貢献	地域の防災機関と連携し、防災講座を計画・実施して、防災知識と意識を高め、災害時に地域社会に貢献できるようにする。	B	B	災害時における高校生の役割を考え、訓練することに期待する。
		Xを1週間に1回以上更新し、定時制の教育活動についてアピールする。学校説明会や公開授業週間の機会を利用して、教育活動を広く周知する。	A	A	学校の情報を積極的に発信する姿勢を評価する。
オ	個に応じた丁寧な進路指導	進路シラバスを充実させ、体系的なキャリア教育を行う。就業状況カードを活用し、在学中及び卒業後の就労に繋げる。	B	B	就職状況カードの活用を望む。
		進路研修や社会人講話などを通して、在学中から生徒の就労への意識を高める中で、卒業予定者の進路決定率が100%になるよう指導する。また、法人会、振興会と連携し、社会人講話等の機会を設け、生徒の就労支援の充実につなげる。	B	B	社会人講話など、外部と連携した活動を継続してほしい。
カ	学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質能力向上の推進	年間を通し、各種研修会、講演会を3回実施し、教職員の資質能力の向上を図る。また、定期訪問を活用し、特別支援教育の視点からの生徒指導について理解を深める。	B	B	研修会の成果を教員で共有することを望む。
		特別支援教育・人権教育の研修に、できるだけ多くの教職員が参加し、全職員で情報共有を図る。	A	A	さまざまな研修を積極的に実施することを望む。

様式第 5 号

キ	働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築	計画的に休暇を取得したり、定時退勤日を設けて心身のリフレッシュを図る。	A	A	計画的な休暇を気兼ねなく取得できる雰囲気づくりを期待する。
	働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築	働きやすい環境を整備し、職員の安全と衛生に配慮する。	A	A	教員間のコミュニケーションを大切にしてほしい。
ク	教育目標達成のための適切な財務執行	・経営予算（光熱水費等を除く。）を上半期 60%以上、第 3 四半期 80%以上の執行率とし、庁舎等修繕費は、効果的かつ速やかに執行する。 ・内部統制制度でリスク有とした事務を全職員が共通認識し、ミスを未然に防止する。	B	B	教育環境の整備を図ってほしい。